

事務事業名	H22新規 都市公園競技場改修事業		所属部局	建設部		単位番号	7124							
			所属課室	都市計画課		課長名	新津 元博							
	☐ 実施計画事業		所属担当	都市整備担当		担当者名	中島 司							
基本政策	基本計画体系	13	うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
		21	都市空間の整備		01	一般	0	8	0	4	0	3	0	4
政策			都市空間の整備	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金									
施策			安らぎ空間の整備											
事業期間	☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 年度)			法令根拠	都市計画法、都市公園法									
	☐ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)													
事業の内容・概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載				事業費の主な内訳 (22年度)									
	1 事業の内容 社会資本整備総合交付金事業により楡形総合公園及び白根中央公園の競技場の整備を行う。				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)			
	2 事業の内訳 楡形総合公園野球場の改修及び陸上競技場の改修、並びに白根中央公園サッカー場を整備する。				調査研究委託料		998							
									計		998			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	22年度活動実績	23年度活動予定
	競技場の整備に向けて規模等の調査を行う。また、合わせて社会資本整備総合交付金事業の模索を行った。	
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 公園利用者	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	市民が快適に安らぐことができる公園の整備を行う。	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	広域防災拠点、避難場所としての役割を持つ、防災公園として整備を行い、市民が安心して快適に安らぐことができるようにする。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 都市公園の整備進捗率	%
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 公園利用者人数	人
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 公園整備率	%
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 公園や子どもの遊び場に関する満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円		998					
	事業費計 (A)	千円	0	998	0	0	0	0		
	人件費	正規職員従事人数	人		2					
		延べ業務時間	時間		300					
		人件費計 (B)	千円	0	1,338	0	0	0	0	
		(A) + (B)	千円	0	2,336	0	0	0	0	
活動指標		アイウ	%		80.0					
対象指標		アイウ	人		20,000.0					
成果指標		アイウ	%		85.0					
上位成果指標		アイ	%		33.0					

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年に緑ヶ丘球場が近隣市民の反対により高校野球が出来なくなったことにより、高野連等野球関係者の要望により調査を行う事となった。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	現在でも、春、夏、秋の高校野球大会開催球場の配置に苦慮している。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	出来るだけ、中途半端なものではなく、将来プロ野球も誘致できる規模のものを作っていただきたい。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている 【内容!】 ☐ 取り組みしていない 【理由!】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	H22年度庁内検討会を立ち上げ整備内容を検討し市長に報告
H 22年度に実施した改革改善の内容	事業規模、予算規模及び必要性を検討し3案を提出した。厳しい財政状況を踏まえ、できるだけ有利な特財を得ること及び経済性を重視しながら最終案を決定した。

事務事業名	H22新規 都市公園競技場改修事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている 【理由↓】 広域防災公園として整備を行うため、災害時の避難場所としての役割を十分に果たす。
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である 【理由↓】 社会資本整備であるため、公共事業で行うのが妥当である。
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である 【理由↓】 市の中心的、安らぎ空間である総合公園の整備であるため適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない 【理由↓】 現在も模索中である。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 統合・連携ができない 【理由↓】 本事業は都市公園事業であることから他の事業は考えられない。 ☐ 類似事務事業がない
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 市の計画的な基盤整備が出来なくなる。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 住民の要望が強い。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 道路詳細設計の見直し及び、構造物の見直し。
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 市の技術職員が管理、監督を行うのが一番経費削減である。
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 市の計画的な基盤整備であり、市民全員を対象に事業を進めているため公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	事業費がある程度多く見込まれることから、再度整備内容について検討していく必要がある。事業のメニューが7項目ほどあるが、さらに個々に事業費及び内容を精査していく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止 (目的妥当性、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性 の結果) ☐ 公平性改善 (公平性 の結果) ☐ 休止 (目的妥当性、 、 の結果) ☒ 成果向上 (有効性 の結果) ☐ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性、 、 の結果) ☒ コスト削減 (効率性、 の結果)		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☒</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☒	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☒	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について 規模を縮小すれば経費が削減できるが現状、どの程度まで改修するのか、改修しないのが方向性が出ていないため、現時点では事務事業、改革、改善の方向性は判断付かない。																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 早期に改修規模の確認を行う。 市民、利用者が安全、安心して利用できる改修を行う。		(5) 事務事業優先度評価結果 <table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>終了事業</td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>終了事業</td></tr></table>		成果優先度評価結果	終了事業	コスト削減優先度評価結果	終了事業																	
成果優先度評価結果	終了事業																							
コスト削減優先度評価結果	終了事業																							